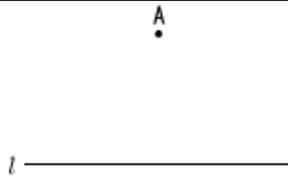


1 お茶の水女子大附属高校 (R5年) ★★★

$\angle A = 30^\circ, AB = AC$ である二等辺三角形ABCで辺BCが直線*l*上にあるものを作図せよ。作図に用いた補助線は消さずに残しておくこと。



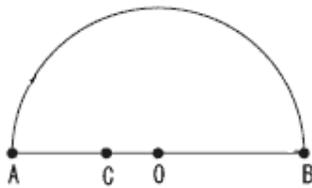
4 埼玉県立高校学校選択 (R4年) ★★★

図の線分AB上に点Cをとるとき、 $AC:AB = 1:\sqrt{2}$ となる点Cをコンパスと定規を{使って作図しなさい。
ただし、作図するためにかいた線は、消さないでおきなさい。



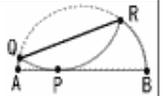
2 都立日比谷高校 (R4年) ★★★

点Oは線分ABを直径とする半円の中心である。点Cは線分OA上にあり、弧AB上の点をPとする。 $\angle CPB = 30^\circ$ となる点Pを、定規とコンパスを用いて作図によって求め、点Pの位置を示す文字Pも書け。
ただし、作図に用いた線は消さないでおくこと。



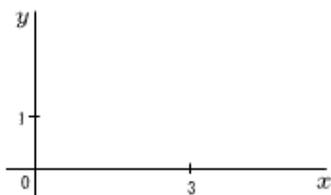
5 都立西高校 (R4年) ★★★

線分AB上の点をPとし、線分ABを直径とする半円を、折り返した弧と線分ABが点Pで接するように1回だけ折り、できた折り目を線分QRとしたものである。
線分QRを定規とコンパスを用いて作図せよ。
ただし、作図に用いた線は消さないでおくこと。



3 県立膳所高校 (R6年) ★★★

図の座標平面の*x*軸、*y*軸上にそれぞれ点(3,0)、点(0,1)が与えられている。解答用紙にある座標平面の*x*軸上に、点P($\sqrt{19}$, 0)を作図しなさい。
ただし、作図にはコンパスのみを使用し、作図に使った線は消さないこと。また、コンパスで長さを移す操作を1回と数え、コンパスを使える回数は最大5回までとする。



6 都立立川高校 (R6年) ★★★

図のように、線分ABと線分CDがあり、互いに文わっている。解答欄に示した図をもとにして、線分CD上にあり $\angle APB = 45^\circ$ となる点Pを、定規とコンパスを用いて作図し、点Pの位置を示す文字Pも書け。
ただし、作図に用いた線は消さないでおくこと。

